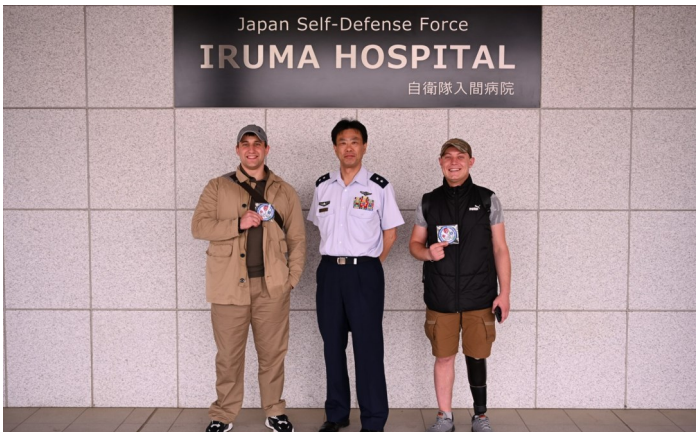
入間病院が受け入れたリハビリを要するウクライナ負傷兵の退院について

４月２４日から航空自衛隊入間基地にある入間病院が受け入れていた、リハビリを要するウクライナ負傷兵が５月２９日に無事退院しました。この入院は防衛医科大学校病院で入院していた負傷兵を入間病院が受け入れることで、防衛医科大学校病院による新規負傷兵の受け入れに寄与できるようにするために行いました。今後も国際社会と緊密に連携しながら、ウクライナを最大限支援していきます。

なお、入間病院は飛行場隣接、航空医学機能を有する唯一の病院として、大規模災害発生時等の患者後送における役割が期待されています。